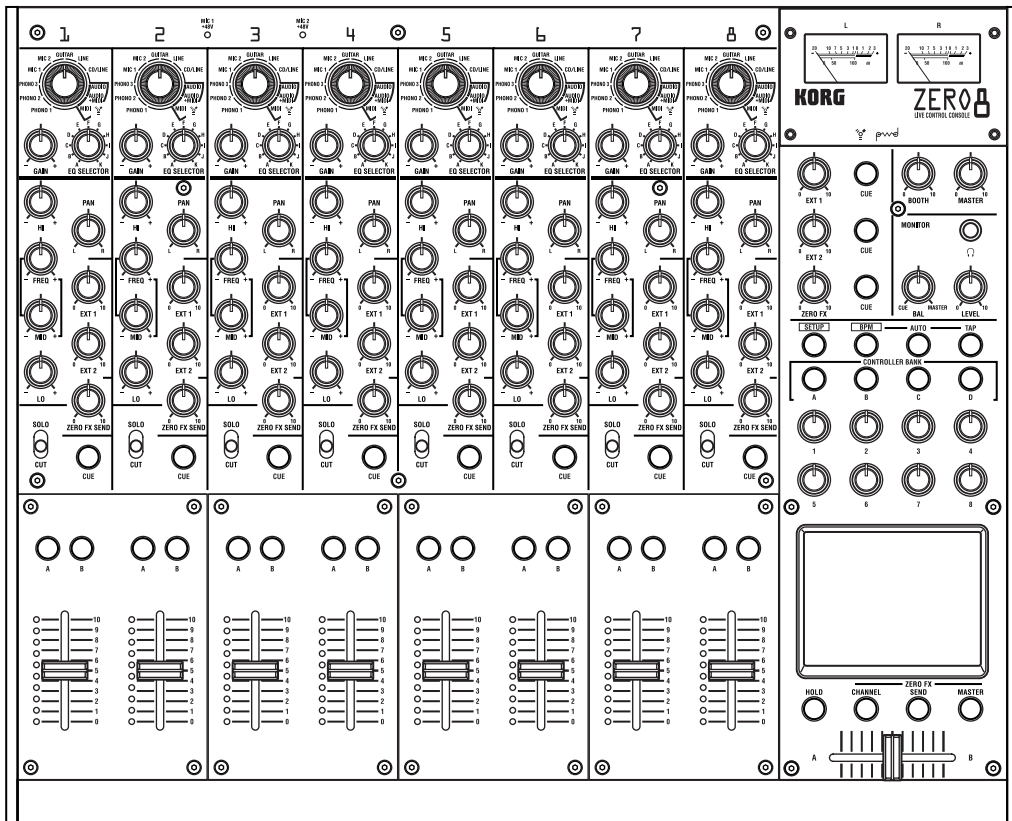


KORG

ZERO

LIVE CONTROL CONSOLE



OWNER'S MANUAL MANUEL D'UTILISATION BEDIENUNGSANLEITUNG 取扱説明書

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT
EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください



警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。



・ 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が内部に入ったとき
- 製品に異常や故障が生じたとき

修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。



・ 本製品を分解したり改造したりしない。



・ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。

・ 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

・ 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。

万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

・ 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。

・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。

・ 振動の多い場所で使用や保管はしない。

・ ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



・ 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



- ・雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- ・本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- ・本製品に液体をこぼさない。



- ・濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



- ・正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- ・外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。



- ・本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。



電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。

- ・付属の電源コードは他の電気機器で使えない。

付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。

- ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。

本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。

- ・スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。

故障の原因になります。

- ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。

- ・不安定な場所に置かない。

本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

- ・本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。

本製品が転倒または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

- ・本製品の隙間に指などを入れない。

お客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

- ・LCD画面には、次のようなことを絶対にしない。

○シャープ・ペンシルのように先の鋭いもの、硬いものでLCD画面を強く押したりこすったりする。

○LCD画面の隅を、ペンや爪などで強くこする。

本製品が損傷してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。大切なデータは、あらかじめ他のメディア等へセーブしておいてください。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

* MIDIは社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

* FireWireは、米国Apple Computer社の登録商標です。

* 記載されているすべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに	109	FireWireインターフェイス機能	121
1. おもな特長	109	1. FireWireオーディオ・インターフェイス	121
2. 各部の名称	110	192kHzサンプリング周波数で使う方法	122
トップ・パネル	110	2. FireWire MIDIインターフェイス	123
リア・パネル	112	MIDIコントローラーとして使用する	123
操作方法	114	FireWire Audio/MIDIデバイス名一覧	124
1. 準備	114	MIDIの接続	124
入力機器の接続	114	システム・セットアップ	125
出力機器の接続	114	1. セットアップ方法	125
電源を入れる	115	2. セットアップ・パラメーター・ガイド	125
電源を切る	115	フェーダーカーブを設定する	125
電源コードの接続について	115	MIDIコントロール・チェンジ・メッセージの設定	126
2. ミキサーを使う	116	FireWire オーディオ出力の設定	128
入力を選択する	116	EQタイプを表示する	128
入力レベルを調整する	116	LCDディスプレイの調整、設定の初期化	128
音をミキシングする	116	ソフトウェアのインストール	130
クロスフェーダーを使う	116	1. Windows XPのドライバとエディター・ソフトのインス	
マスター出力/ブース出力を使う	116	トール	130
モニタリング	117	ZERO4/ZERO8アプリケーション・インストーラー	130
エフェクト・レベルの設定	117	KORG FireWire Audio/MIDIドライバのインストール	130
3. イコライザー	117	ZERO Editのセットアップ	131
イコライザーで音を調整する	117	デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するに	
4. BPMシステム	118	は	131
BPMマニュアル設定	118	2. Mac OS Xのエディター・ソフトのインストール ...	132
BPMタップテンポ設定	118	ソフトウェアのインストール	132
オートBPM機能	118	ZERO Editのセットアップ	132
5. エフェクター	119	付録	133
エフェクト・タイプ	119	1. 故障かなと思う前に	133
エフェクトの操作	120	2. エラーメッセージ	135
		3. 仕様	135
		■ 主要規格	135
		■ アナログ・デジタル入出力規格	136
		■ 付属品	136

はじめに

このたびは、コルグLIVE CONTROL CONSOLE ZERO8をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機を末永くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

1. おもな特長

8チャンネル・ステレオ・デジタル・ミキサー

24bit、サンプリング周波数44.1kHz/48kHz/96kHzの8チャンネル・ステレオ・デジタル・ミキサー。また、192kHzの高音質な4チャンネル・ステレオ・デジタル・ミキサーとしても動作可能です。

FireWire オーディオ/MIDI インターフェイス

FireWire接続によるオーディオ/MIDIインターフェイスを搭載。コンピューターとFireWireケーブルで接続して、オーディオ/MIDIデータを転送することができます。最大16in/16outのオーディオ・データを転送することができます。

フレキシブルなチャンネル選択

マイク/ギター/ライン/フォノのアナログ・オーディオ入力に加えて、FireWire デジタル・オーディオ・インターフェイスやMIDIコントローラー等、各ミキサー・チャンネル毎にフレキシブルな素材のコントロール設定が可能です。

EQタイプセレクター

チャンネル毎にEQタイプを設定が可能。EQタイプは、代表的なEQカーブや、フィルター、アインレーター等、デジタル処理ならではの様々なタイプに変更することができます。

チャンネル・フェーダー/クロスフェーダー・カーブ・コントローラー

チャンネル・フェーダー・カーブ、クロスフェーダー・カーブを設定可能。フェーダー・カーブはチャンネル毎に設定でき、好みのフェーダーの切れ具合、遊び具合を設定することができます。またクロスフェーダーを装備し、ミキサー・チャンネルをA/Bにアサインし、オーディオを滑らかにクロスフェードすることが可能です。

オートBPMカウンター

オートBPMカウンターを搭載。指定したチャンネルのオーディオ素材のBPMを測定することができます。またタップ・テンポを併用し、オートBPMカウンターの測定精度を高めるセミオートBPM設定を使用することができます(マニユアルBPM設定も使用可能)。BPMディレイなど、設定したBPMに同期するエフェクトを使用することができます。

MIDIコントローラー用プッシュ・ノブ

各ミキサー・チャンネルのノブの他に、MIDIコントローラーとして使用可能なプッシュ・ノブを8個搭載しています。8個のプッシュ・ノブにはそれぞれ、スイッチ動作とエンコーダー動作を4バンク分登録でき、最大64個((スイッチ+エンコーダー)x8個x4バンク)のパラメーターコントロールを設定することができます。

タッチパネルLCD

タッチパネル式のLCDを搭載し、直感的な画面操作が可能です。またLCDディスプレイのタッチ操作を利用し、KAOSS PADのように内蔵エフェクターのコントローラーとしても使用でき、画面表示とパラメーター・エディットを兼ね備えた操作が可能です。

マイク・プリ・アンプ

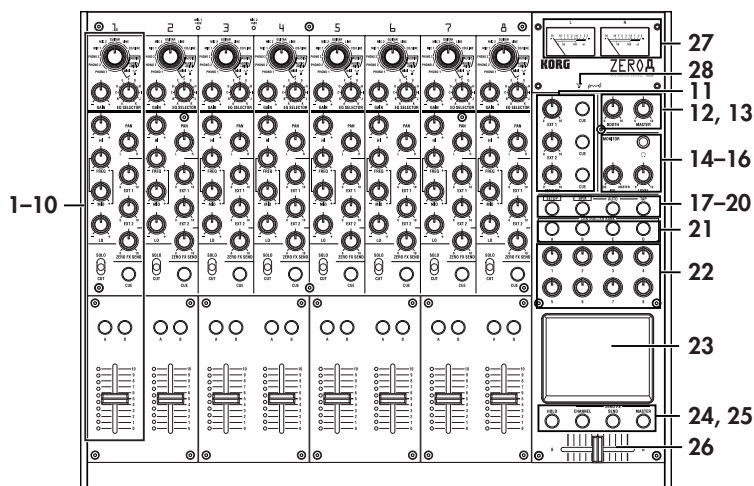
MIC端子に搭載したマイク・プリ・アンプには、ピーター・ワッツ・デザインズ社の協力で開発された高音質回路を採用しました。



このロゴは、ピーター・ワッツ氏率いるピーター・ワッツ・デザインズのもです。ピーター・ワッツ氏は、英国トライデント・オーディオ社、米国マッキー・デザイン社のチーフ・エンジニアや開発責任者を歴任し、数多くのプロフェッショナル・オーディオ機器の設計に携わりました。

2. 各部の名称

トップ・パネル



1. INPUT SELECTORノブ

ミキサー・チャンネルにアサイン(割り当て)する入力端子やFireWireオーディオを選択します。

また、EQノブやフェーダーなどのコントローラーを、MIDIコントローラーとして使用する場合もここで設定します。

2. GAINノブ

ミキサー・チャンネルにアサインしたオーディオ入力のゲインを調整します。

ヒント: MIC入力のレベルが高く、音がひずむときは、リア・パネルのMIC GAINスイッチを押して、マイク・プリ・アンプのゲインをLOWにしてください。

3. EQ SELECTORノブ

EQのタイプを設定します。

タイプを切り替えることにより、HI/MID/LOの各帯域を調整したときの音質補正の効果を変更することができます。

4. EQノブ

HIGH、MID、LOの各ノブにより各帯域の音質を調整します。また、MID-FREQノブでMIDの中心周波数変更することができます。

5. PANノブ

左右の音量バランスを調整します。

6. SENDノブ

EXT1、EXT2: EXT SEND1/2端子に接続したエフェクト機器へのSEND・レベルを調整します。
ZERO FX SEND: ZERO FXのSEND (内蔵のSEND・エフェクト)へのSEND・レベルを調整します。

7. SOLO/CUTスイッチ

SOLO側に倒すと、そのミキサー・チャンネルの音だけがマスター・アウトに出力されます。他のミキサー・チャンネルの音は出力されません。

ヒント: 複数のミキサー・チャンネルをオンにすることもできます。

CUT側に倒すと、そのミキサー・チャンネルの音はミュートされます。

ヒント: CUT側にスイッチを固定することはできません。

8. CUE ボタン

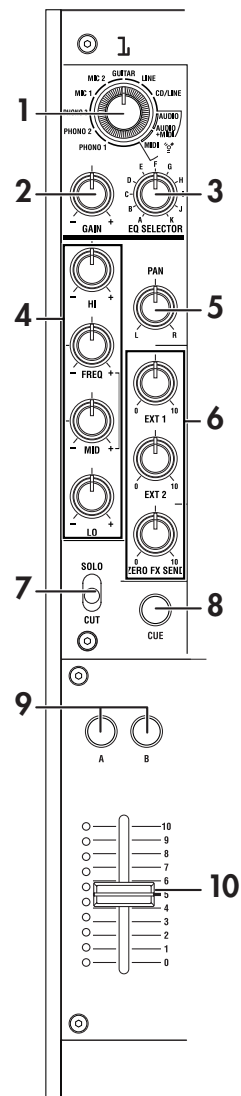
このボタンを押して点灯させると、そのミキサー・チャンネルのプリ・フェーダーの音がCUEバスに送られます。CUEバスの音は、MONITOR BALノブをCUE側に設定することで、ヘッドホンからモニターすることができます。

9. A、B ボタン

AまたはBのボタンを押すと、クロスフェーダーのAチャンネルまたはBチャンネルに割り当てられます。

10. チャンネル・フェーダー

ミキサー・チャンネルに割り当てた入力音のレベルを調節します。



11. EXT1ノブ、EXT2ノブ、ZERO FXノブ、CUEボタン

EXT1、EXT2: EXT1 RETURN端子、EXT2 RETURN端子に接続した機器からのリターン・レベルを調節します。

ZERO FX SEND: 内蔵のセンド・エフェクトからのリターン・レベルを調節します。

CUE: CUEボタンをオンにすると、それぞれのプリ・フェーダー音をCUEバスに送ります。

12. BOOTHボリューム・ノブ

BOOTH OUT端子からの出力レベルを調節します。MASTER OUT端子と同じ音を出力します。

13. MASTERボリューム・ノブ

MASTER OUT端子からの出力レベルを調節します。

14. ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

15. MONITOR BALノブ

CUE側に回すと、各チャンネルからCUEバスに送られた音が、MASTER側に回すと、MASTER OUT端子から出力している音と同じ音が、ヘッドホンでモニターすることができます。

16. MONITOR LEVELノブ

ヘッドホンの音量を調節をします。

17. SETUPボタン

LCDディスプレイに SETTING MAIN ページが表示され、各種設定や確認が行えます。

18. BPMボタン

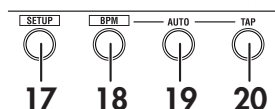
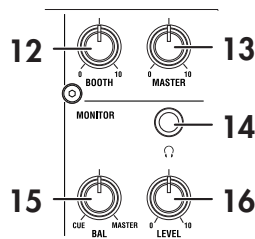
LCDディスプレイにBPMページが表示されます。オートBPMカウンターのオン/オフ、ソース選択、マニュアルでのBPM設定が行えます。

19. AUTOボタン

オートBPMのオン(LED点灯)、オフ(LED消灯)を設定します。

20. TAPボタン

このボタンを押したタイミングでBPM値の検出やオートBPM時のガイドとして使用します。



21. MIDI CONTROL BANK A、BANK B、BANK C、BANK D ボタン

MIDI CONTROL BANK A、BANK B、BANK C、BANK Dの各ページが表示されます。8個のプッシュ・ノブ、タッチ・パッドをMIDIコントローラーとして使用し、バンク毎に設定した各MIDIメッセージを送信することができます。

22. プッシュ・ノブ 1～8

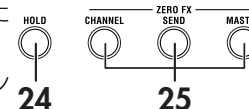
LCDディスプレイに表示されるパラメーターをエディットするためのコントローラーです。MIDI CONTROLページ時は、MIDIコントロールメッセージを送信するコントローラーとしても使用できます。

23. LCDディスプレイ

タッチパネル式のタッチビュー・システムを搭載しています。LCDディスプレイに表示されるパラメーターを選択したり、タッチ・パッド・エフェクトのコントローラーとして使用します。MIDI CONTROLページを表示時、X-YパッドのMIDIコントローラーとしても使用できます。

24. HOLDボタン

タッチ・パッドを使用するエフェクト操作時にホールドのオン/オフを設定します。



25. CHANNEL、SEND、MASTERボタン

各エフェクトの設定ページが表示されます。

CHANNEL: ミキサー・チャンネルにインサートするチャンネル・エフェクトを設定します。チャンネル・エフェクトを割り当てるミキサー・チャンネルの設定とエフェクト・プログラムを選択することができます。

SEND: 各チャンネルからのエフェクト・センド・レベルで調整した音にかけセンド・エフェクトを設定します。マスター・バスへ戻すリターンレベルを設定することができます。

MASTER: マスター・バスの音声にけるマスター・エフェクトを設定します。

26. クロスフェーダー

Aチャンネル、Bチャンネルに割り当てた音声をクロスフェードし、マスター・バスに出力します。

27. マスター・レベルメーター

マスター・アウトの出力を表示する、針式メーターです。クリップ時、赤で点灯するので、それが点灯しない範囲でマスター・アウト・レベルを調整してください。

28. FireWire インジケータ

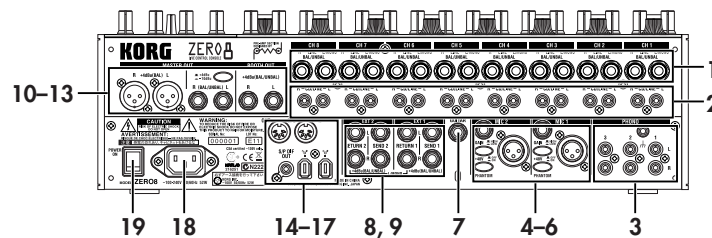
FireWireケーブルでコンピューターと接続したときに、接続したことを認識すると点灯します。

ヒント: このインジケータが点灯してから、ホスト・アプリケーションを立ち上げてください。

LCDディスプレイの取り扱いについて

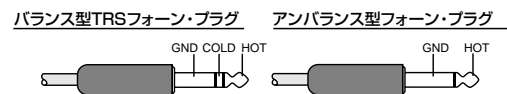
LCDディスプレイは強く押ししたり、重いものを乗せたり絶対にしないでください。乱暴に扱おうとLCDディスプレイにヒビが入ったり、割れることがあります。また、表面をとがったものでこすったり、押ししたりするとキズがつきますので、必ず指先で操作してください。お手入れは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。シンナーなどの有機溶剤は変形の恐れがありますので、使用しないでください。

リア・パネル



1. INPUT 1 ~ 8 (LINE) 端子

1/4インチTRSフォーン・タイプのバランス入力端子です。



2. INPUT 1 ~ 8 (CD/LINE) 端子

RCAタイプのアンバランス入力端子です。

3. PHONO 1 ~ 3 端子、GND 端子

レコードプレーヤー用のフォノ入力端子とグラウンド端子です。

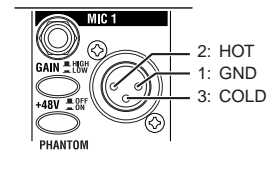
4. MIC 1、MIC 2 端子

TRSフォーン端子とXLR端子(+48Vファンタム電源搭載)の2種類の端子があります。

TRSフォーン端子を接続するとXLR端子は使用できません。

5. MIC GAIN スイッチ

MIC 1、MIC 2 端子それぞれのマイク・プリ・アンプのゲインを設定します。



6. +48V PHANTOMスイッチ

MIC1、MIC2 端子それぞれのファンタム電源のオン、オフを行います。ファンタム電源は、バランス型XLR端子に供給されます。

注意 +48V PHANTOMスイッチをオンにした状態で、コンデンサマイクを抜き差しすると、機器を破損する恐れがありますので、必ずファンタム電源スイッチをオフの状態でごコンデンサ・マイクの接続を行ってください。

注意 +48V PHANTOMスイッチをオンにした状態で、絶対にコンデンサ・マイク以外の機器を接続しないでください。機器を破損するおそれがあります。

7. GUITAR端子

ギターやベース・ギターを接続します。

1/4インチ・フォーン・タイプのアンバランス入力の端子です。

8. EXT1 SEND、EXT2 SEND 端子

各ミキサー・チャンネルからの外部センド音を出力します。外部エフェクト機器などを接続します。1/4インチTRSフォーン・タイプのバランス入力端子です。

9. EXT1 RETURN、EXT2 RETURN 端子

SEND端子に接続した外部エフェクト機器からの音声信号を入力します。RETURN端子に入力した音は、マスター・バスにミックスされます。1/4インチTRSフォーン・タイプのバランス出力端子です。

10. BOOTH OUT 端子

MASTER OUTと同じ音声を出力します。BOOTHノブでMASTER OUTとは、違う音量レベルに調整をすることができます。

1/4インチTRSフォーン・タイプのバランス出力端子です。

11. MASTER OUT (XLR) 端子

マスター・バスの音声を出力します。

12. MASTER OUT (TRSフォーン) 端子

マスター・バスの音声を出力します。1/4インチTRSフォーン・タイプのバランス出力端子です。

13. MASTER OUT 出力レベル切替スイッチ

TRSフォーンのMASTER OUT端子のレベルを切り替えます。接続する機器に合わせて設定してください。

14. FireWire 端子

コンピューターと接続し、オーディオ/MIDIインターフェイスとして使用します。2つの端子は、同じ動作をします。コンピューターと接続していない端子は、デジチェーン接続用として使用することができます。

15. DIGITAL OUT (コアキシャル) 端子

S/PDIF規格のデジタル出力です。MASTER OUT端子と同じ音声をデジタル出力します。

16. MIDI IN 端子

MIDI信号を入力します。入力したMIDI信号は、FireWire端子を経由して、コンピューターに送信することができます。

17. MIDI OUT 端子

コンピューターからFireWire端子を経由して入力したMIDIメッセージをスルー出力します。また、本機のMIDIメッセージを出力します。

18. 電源端子

付属の電源コードを接続します。

19. 電源スイッチ

電源をオン、オフします。

操作方法

1. 準備

機器の接続を行うときは、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

入力機器の接続

接続する機材によって接続する端子を選んでください。

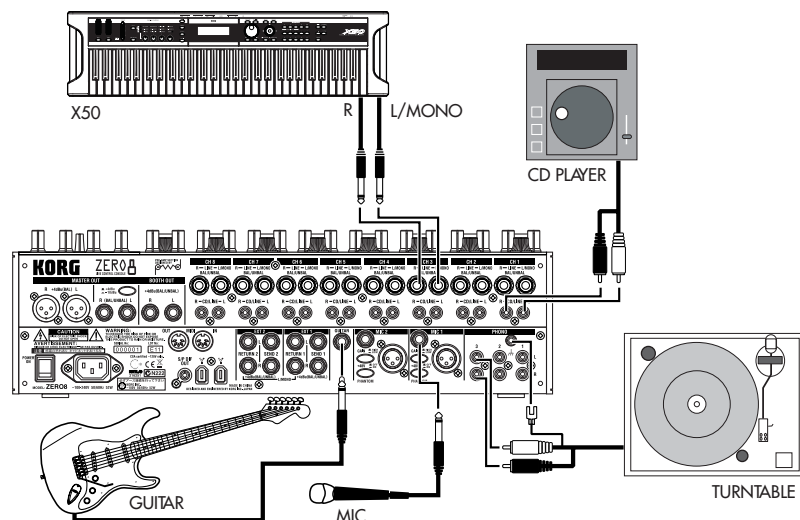
マイク: MIC 端子 (TRS フォーン端子かバランス型 XLR 端子)

ギター: GUITAR 端子

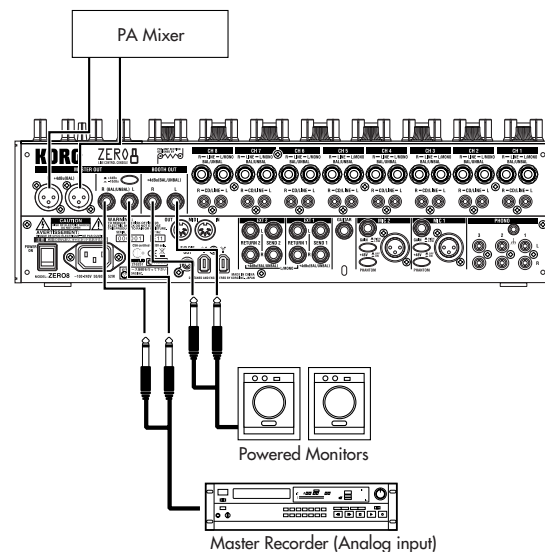
サンプラー、キーボードなど: LINE 端子 (TRS フォン・タイプのバランス入力端子)

CD プレーヤー: CD/LINE 端子 (RCA タイプのアンバランス入力端子)

レコードプレーヤー: PHONO 入力端子 & グランド端子



出力機器の接続



電源を入れる

本機の電源を入れるときは、以下の手順で行ってください。

1. 電源コードを接続します。
「電源コードの接続について」を参照し、付属の電源コードを電源端子に接続します。
2. 入力端子に接続した外部機器の電源を入れます。
3. 本機のMASTERボリューム・ノブを絞ります。
4. 本機のリア・パネルにある電源スイッチをオンにします。
5. モニターアンプなどMASTER OUT端子に接続したアンプの電源を入れてください。

電源を切る

1. 本機のMASTERボリューム・ノブを絞ります。
2. モニターアンプやMASTER OUT端子に接続したアンプ等の電源を先に切ります。
3. 本機のリア・パネルにある電源スイッチをオフにします。

電源コードの接続について

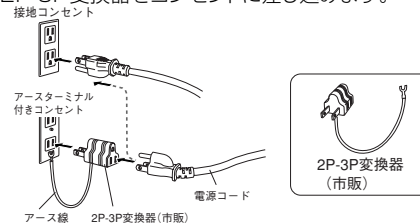
1. 本機の電源スイッチがオフになっていることを確認します。
2. 付属の電源コードを本機リア・パネルのAC電源端子に接続します。
ヒント: 電源コードは必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用した場合、故障などの原因となります。
3. 付属の電源コードには、アース端子がついています。感電と機器の損傷を防ぐためにアース接続を確実に行って、コンセントに接続してください。
ヒント: 電源は必ずAC100Vを使用してください。

接地コンセントに接続する場合

電源コードのプラグをコンセントに直接差し込んでください。

アースターミナル付きコンセントに接続する場合

- a. 電源コードのプラグに2P-3P変換器(市販)を取り付けます。
- b. 2P-3P変換器のアース線をコンセントのアースターミナルに接続します。
- c. 2P-3P変換器をコンセントに差し込みます。



注意: アースターミナル付きコンセントでは、必ずアース端子を先に接続してからコンセントにプラグを差し込んでください。コンセントから外す場合は、必ずプラグを先に抜いてからアースを外してください。接続方法が分からないときは、コルグお客様相談窓口にご相談ください。

2. ミキサーを使う

入力を選択する

各ミキサー・チャンネルに、どの入力端子を割り当てるかを選択します。

1. トップ・パネルのINPUT SELECTORノブで選びます。

オーディオ入力を選択したミキサー・チャンネルの各ノブは、オレンジに点灯します。MIDIコントローラーとして動作するノブは、青で点灯します。

PHONO1, 2, 3	それぞれ PHONO1 端子、PHONO2 端子、PHONO3 端子に接続した機器の音を選択します。
MIC1, 2	それぞれ MIC1 端子、MIC2 端子に接続した機器の音を選択します。
GUITAR	GUITAR 端子に接続した機器の音を選択します
LINE	LINE 端子に接続した機器の音を選択します。
CD/LINE	CD/LINE 端子に接続した機器の音を選択します。
FireWire AUDIO	FireWire 端子に接続したコンピューターからの音を選択します。
AUDIO + MIDI	FireWire 端子に接続したコンピューターからの音を選択します。このとき SEND (EXT1、EXT2、ZERO FX SEND) ノブ、PAN ノブは MIDI コントローラーとして機能します。
MIDI CONTROL	ミキサー・チャンネルのコントローラーを、MIDI コントローラーとして使用します。

ヒント: “FireWire AUDIO”、“AUDIO + MIDI” を選択したとき、FireWire 端子への出力は、INPUT (LINE) 端子に入力されたプリEQの音声が出力されます。SETTING ページで指定チャンネルの出力設定を “PRE EQ”、“PRE FDR”、“POST FDR” 以外に設定している場合は、それらの設定が優先されます。

入力レベルを調整する

1. GAIN ノブを調整します。

最大のレベルを入力したときに、レベル・インジケーターが赤で点灯しないように調整します。

ヒント: マイク入力時に、レベルの高いマイクを接続した場合は、MIC GAIN スイッチを LOW にしてください。

音をミキシングする

1. 各ミキサー・チャンネルの音量レベルを、それぞれのフェーダーで調整します。
2. 各ミキサー・チャンネルのPANノブで、ステレオ定位を調節します。

クロスフェーダーを使う

クロスフェーダー A チャンネル、または B チャンネルに割り当てた音は、クロスフェーダーによってクロスフェードさせることができます。クロスフェーダーを使用することで、瞬時に2つのチャンネルの音声を切り替えたり、クロスフェードさせて、DJプレイが行えます。

1. クロスフェーダーのAチャンネルに割り当てるミキサー・チャンネルのAボタンを、オン(LED点灯)にします。
複数のミキサー・チャンネルをオンにすることもできます。
2. クロスフェーダーのBチャンネルに割り当てるミキサー・チャンネルのBボタンを、オン(LED点灯)にします。
3. 解除する場合は、点灯しているボタンを再度押します。
Aチャンネル、Bチャンネルのどちらにも割り当てていない(LED消灯時)ときは、ミキサー・チャンネルの音は、クロスフェーダーを通さずにマスター・バスに送られます。

マスター出力/ブース出力を使う

ミキシングした音をMASTER OUT端子、BOOTH OUT端子から出力します。それぞれの端子からは同じミックス音が出力されますが、MASTERボリューム・ノブ、BOOTHボリューム・ノブでそれぞれ違う音量を設定することができます。

音量を調節する

1. MASTER OUT端子の音量は、MASTERボリューム・ノブで調節します。
レベルメーターが赤に点灯しないレベルに調節してください。
2. BOOTH OUT端子の音量は、BOOTHボリューム・ノブで調節します。
3. ヘッドホン端子の音量は、MONITOR LEVELノブで調節します。

モニタリング

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続し、ミキシングした音や入力音をモニターします。

CUE (キュー)

演奏中に自分の演奏音を確認するために、MASTER OUT端子に出力しないでモニター (ヘッドホン) する機能です。CUEバスの音は、モニターセクションのMONITOR BALノブをCUE側に設定することにより、ヘッドホンからモニターすることができます。これによりフェーダーを下げた状態でCUEをオンにしておき、EQやチャンネル・エフェクトを調節した音をヘッドホンでチェックしながら、チャンネル・フェーダーを上げることで狙った音をマスターから出力することができます。

CUEによるモニタリング

各ミキサー・チャンネルのCUEボタンをオンにすることにより、フェーダーの前の音をCUEバスに送ることができます。

1. モニターするミキサー・チャンネルのCUEボタンをオンにします。
2. MONITOR BALノブでマスター出力音とCUEバス音の音量バランスを調節します。
全体の音量は、MONITOR LEVELノブで調節します。

エフェクト・レベルの設定

外部エフェクターを使用する場合は、EXT1/2 SEND端子、EXT1/2 RETURN端子に接続します。

1. SEND端子へ出力するセンド・レベルを、EXT1、EXT2のSENDノブで調整します。
EXT 1、EXT 2のRETURNノブを回すことにより、RETURN1/RETURN2端子から入力された音のリターン・レベルを調整します。
2. センド・エフェクトへのセンド・レベルをZERO FX SENDノブで調整します。
ZERO FX SENDのRETURNノブで、センド・エフェクトのリターン・レベルを調整します。
ヒント: それぞれのCUEボタンをオン (LED点灯) することによって、リターン・レベル調整前の音をCUEバスに送ることができます。
リターン・レベルをゼロに絞って置いてCUEボタンをオンにしておき、ヘッドホンであらかじめチェックしながら、リターン・レベルを上げることで狙った音をマスターから出力することができます。

3. イコライザー

イコライザーで音を調整する

イコライザー (EQ) は、ヒスノイズなどの耳障りな周波数帯域をカットしたり、低域や高域をカットまたはブーストします。各ミキサー・チャンネルごとに設定できます。

1. EQ SELECTORノブでイコライザーのタイプを選びます。

EQタイプ: さまざまなジャンルに対応したEQ特性のEQタイプです。

- A. ZERO EQ
- B. BOOST
- C. HYPED
- D. ROUND-Q
- E. SLAMMING

アイソレーター・タイプ: -12dB/octのアイソレーターです。入力音を帯域ごとに分割し、各帯域の音をカットすることができます。すべての帯域のノブを左に回しきると、音が完全に消えます。

- F. ZERO ISOLATOR
- G. ZERO ISOLATOR WIDE DIVIDER
- H. ZERO ISOLATOR LOW

フィルター・タイプ: HIをLPF、LOをHPFとしたフィルター・タイプです。HIを絞る (左に回す) と、LPFのカットオフ周波数が下がります。LOを絞る (左に回す) と、カットオフ周波数が上がっていきます。MIDはピーキングEQとして動作します。

- I. ZERO FILTER
- J. ZERO FILTER DENSE
- K. ZERO FILTER SPIKY

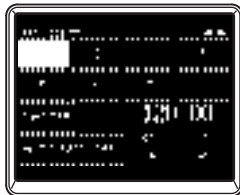
2. EQタイプで設定したEQをコントロールします。
HI/MID/LOの3バンドに好みの音質変化を与えることができます。また、MID-FREQノブでMIDの中心周波数を設定します。

4. BPMシステム

MIDIやBPMに同期して効果のあるエフェクトのマスター・クロックとなるBPMを設定します。オートBPM機能を搭載し、入力されたオーディオソースのBPMを測定することができます。マニュアルでBPMを設定することもできます。

BPM マニュアル設定

1. BPMボタンを押し、BPMページを表示します。



2. プッシュ・ノブ7、8を回して、任意のBPMを設定します。
プッシュ・ノブ8を回すと、0.01単位でBPMを設定できます。

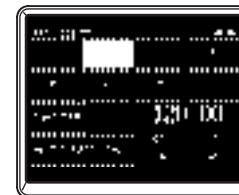
BPM タップテンポ設定

曲のビートに合わせて、TAPボタンを3回以上押します。ボタンを押したビートが検出され、BPM値として設定されます。

オートBPM機能

オートBPMカウンターを使用して、入力した曲のBPMを測定します。

1. BPMボタンを押して、BPMページを表示します。
2. LCDディスプレイに表示される1~8、またはMASTERボタンを押し、BPMを測定するソースを選択します。
1~8を選択したときには、指定したチャンネルの音のBPMを測定します。
MASTERを選択したときには、全チャンネルをミックスした音のBPMを測定します。



3. LCDディスプレイに表示されるAUTO BPMボタンを押し、AUTO BPMをオンにすると、自動でBPMを測定し始めます。誤ったBPMを検出した場合、AUTO BPMがオンの状態でTAPボタンを曲のビートに合わせて押すことで、そのビートをガイドとしてBPMを自動検出します。
また、AUTO BPMオン時は、入力音のBPMが変化しても、自動検出しBPMを合わせます。
ヒント: トップ・パネル上のAUTO BPMボタンを押すことで、BPMページ以外でもAUTO BPMのオン/オフを切り替えることができます。
ヒント: ビート感がはっきりしない曲の場合、正しいBPMを検出することができません。

5. エフェクター

本機のエフェクターは、ミキサー・チャンネルにインサートして使用するチャンネル・エフェクトと、各ミキサー・チャンネルでSEND・レベルを調整した音にかけて使用するSEND・エフェクト、最終段でマスター・バスにかけるマスター・エフェクトの3系統を搭載しています。ZERO FX のCHANNEL、SEND、MASTER の各ボタンを押すと、それぞれのエフェクト設定ページが表示されます

チャンネル・エフェクト

チャンネル・エフェクトは、各ミキサー・チャンネルにインサートして、入力音にかけるタイプのエフェクターです。

チャンネル・エフェクトを選択するには、ZERO FXのCHANNELボタンを押し、チャンネル・エフェクト・ページを表示します。チャンネル・エフェクト・ページ表示時、エフェクターを割り当てるチャンネルを選択できます。

ヒント: 表示されるページはエフェクト・プログラムにより異なります。

SEND・エフェクト

各ミキサー・チャンネルでSEND・レベルを調整した音にかけるSEND/リターン・タイプのエフェクターです。

SEND・エフェクトを選択するには、ZERO FXのSENDボタンを押し、SEND・エフェクト・ページを表示します。

ヒント: 表示されるページはエフェクト・プログラムにより異なります。

マスター・エフェクト

最終段でミックスした音全体にかけるマスター・エフェクトです。

マスター・エフェクトを選択するには、ZERO FXのMASTERボタンを押しマスター・エフェクト・ページを表示します。

ヒント: 表示されるページはエフェクト・プログラムにより異なります。

エフェクト・タイプ

各エフェクトのエフェクト設定ページは、選択しているエフェクト・プログラムにより、以下の5タイプがあります。

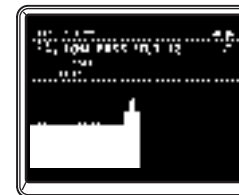
1: タッチ・エフェクト1 (8バー・タイプ)

ページ下部のタッチ領域でバーを描くように操作する8バータイプのエフェクト・プログラム・ページです。8BAND EQの各バンド・ゲインを指で描画するように操作します。



2: タッチ・エフェクト2 (フィルター・タイプ)

ページ下部のタッチ領域を横にスライドさせ、カットオフ周波数を操作するフィルター・タイプのエフェクト・プログラム・ページです。Y方向スライド操作によって、レゾナンスを操作することもできます。



3: タッチ・エフェクト3 (8パッド・タイプ)

ページ下部のタッチ領域を8分割しパッドを押して操作する8パッド・タイプのエフェクト・プログラム・ページです。LOOP DELAYのBEAT設定をパッドを押すように操作することによって、パラメーターを瞬時に目的の値を設定することができます。



4: タッチ・エフェクト4 (タッチ・パッド・タイプ)

ページ全体をタッチ領域としたタッチ・パッド・タイプのエフェクト・プログラム・ページです。X方向、Y方向のそれぞれに別のエフェクト・パラメーターを割り当て、1つの操作で2つのパラメーターを同時に操作することができます。



5: ノブ・コントロール・エフェクト

タッチ・パッド操作のないエフェクト・プログラム・ページです。プッシュ・ノブに割り当てられた、最大6個のエフェクト・パラメーターを各ノブを操作することによって、エフェクト・パラメーターを設定することができます。



エフェクトの操作

タッチ・エフェクト・タイプの操作について

2～4のタッチ・エフェクト・ページでは、HOLDボタンをオン(LED点灯)することによりホールド状態となります。

HOLDオン時(LED点灯)：タッチ・エフェクトのホールドが有効となります。タッチ・パッドから指を離しても、最後に触っていた位置でのエフェクトが保持されます。

HOLDオフ時(LED消灯)：タッチ・エフェクトのホールドが無効となります。タッチ・パッドから指を離したときにエフェクト音が完全にドライになります。

各エフェクト・タイプのノブの操作について

1. 1～4のタッチ・エフェクト・タイプでは、下記のノブによる操作が可能です。

ノブ1: エフェクト・プログラムの選択

ノブ4: チャンネル・エフェクト時のエフェクト・チャンネルの選択

ノブ5～8: エフェクト・パラメーターのエディット(エフェクト・プログラムによってエディットができるパラメーターは異なります。)

2. 5のノブ・コントロール・エフェクト・タイプでは、下記の操作が可能です。

ノブ1: エフェクト・プログラムの選択

ノブ2: チャンネル・エフェクト時のエフェクト・チャンネルの選択

ノブ3～8: エフェクト・パラメーターのエディット(エフェクト・プログラムによってエディットができるパラメーターは異なります。)

FireWire インターフェイス機能

本機をコンピューターとFireWireケーブルで接続し、オーディオ/MIDIインターフェイスとして使用することができます。

- 注意:** 本機はバスパワー供給を行いません。
- 注意:** 本機に2台のコンピューターを同時に接続しないでください。
- 注意:** シーケンス・ソフトウェアなどホスト・アプリケーションをお使いになる場合には、オーディオとMIDIデバイスの設定を行う必要があります。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書などをご覧ください。
- 注意:** ソフトウェアを起動するときは、本機とコンピューターをFireWireケーブルで接続し、電源を入れてからソフトウェアを起動してください。また、ソフトウェアの起動中にFireWireケーブルを抜いたり、本機の電源を切らないでください。
- 注意:** MacOS Xで本機をご使用になる場合、スリープ設定や省エネルギー設定は、オフにしてお使いください。
- 注意:** 各入出力デバイスは、同時に1つのソフトウェアからのみ使用できます。マルチクライアントには対応していません。
- 補足:** ご使用になるコンピューターに付属のCD-ROMを使用して「KORG FireWire Audio/MIDIドライバ」をインストールしてください。(→ p.130)

1. FireWire オーディオ・インターフェイス

本機に入力した音やミックスした音をコンピューターに転送したり、コンピューターのホスト・アプリケーションからのオーディオ出力を、本機に入力するためのオーディオ・インターフェイスとして使用することができます。

FireWireケーブルで接続したコンピューターからは、最大で16in16outのオーディオ・インターフェイスとして認識されます。

サンプリング周波数変更時の制限について

本機はコンピューターと接続するとホストアプリケーションやオーディオドライバのコントロールパネルから、サンプリング周波数を変更することができます。選んだサンプリング周波数により、使用できるエフェクト数、ミキサー・チャンネルが異なります。

44.1kHz、48kHz時: 8ステレオチャンネル + 内蔵エフェクト (ZERO FX CHANNEL、SEND、MASTER)

96kHz時: 8ステレオチャンネル

注意: 96kHzに設定したときは、内蔵エフェクト (ZERO FX CHANNEL、SEND、MASTER) とch5~8のチャンネルEQを使用することができません。またEXT1、EXT2のRETURN端子も使用できません。

補足: MacOS Xで本機をご使用になる場合、お使いのシステム環境によっては、サンプリング周波数の切り替え時に、OSが不安定になる等の症状が出る場合があります。

この場合は、以下のサンプリング周波数を固定して起動する方法で、本機のサンプリング周波数を固定して使用してください。このときコンピューター側から、他のサンプリング周波数に切り替えることはできません。

44.1kHz: ミキサー・チャンネル1のCUEボタンを押しながら電源を入れる。

48kHz: ミキサー・チャンネル2のCUEボタンを押しながら電源を入れる。

96kHz: ミキサー・チャンネル3のCUEボタンを押しながら電源を入れる。

MacOSのシステム環境設定/サウンド/出力ダイアログで、サウンドを出力する装置のリストから本機の表示が消えるたことを確認してから、再度電源をオンにしてください。

また、お使いのコンピューターの機種によっては、本機が接続された状態でコンピューターを起動すると、動作が不安定になる場合があります。そのような場合は、コンピューターが起動した後に本機を接続してください。

192kHz サンプリング周波数で使う方法

本機は192kHzオーディオ・モード専用の起動方法により、24bit/192kHz高音質の8in8outオーディオインターフェースとして使用することができます。

注意: Mac OS X使用時、サンプリング周波数192kHzには対応しておりません。

192kHzオーディオ・モード起動方法

SETUPボタンを押しながら、電源入れます。

注意: 192kHzオーディオ・モード時、他のサンプリング周波数(44.1kHz、48kHz、96kHz)に切り替えることはできません。他のサンプリング周波数に切り替える場合、一度電源を切ってから、通常の電源の入れ方で起動してください。

192kHzオーディオ・モード時の制限

192kHz専用モード時、以下の仕様が制限されます。

チャンネル数:ステレオ4チャンネル(8in8out)

チャンネルEQ:使用不可

EXT1、EXT2 SEND/RETURN:使用不可

内蔵エフェクター(CH、SEND、MASTER):使用不可

192kHzオーディオ・モード時、各コントローラー動作について

チャンネル・コントローラー

コントローラー名	CH1~4	CH5~8
INPUT SELECTOR	通常動作	使用不可
GAIN	通常動作	使用不可
EQ SELECTOR	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー (メッセージは、プログラムチェンジを送信)
HI	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー
MID-FREQ	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー
MID	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー
LO	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー
PAN	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー
EXT1(SEND)	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー
EXT2(SEND)	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー
ZERO FX SEND	MIDIコントローラー	MIDIコントローラー

SOLO	通常動作	MIDIコントローラー
MUTE	通常動作	MIDIコントローラー
CUE	通常動作	MIDIコントローラー
A	通常動作	MIDIコントローラー
B	通常動作	MIDIコントローラー
CH FADER	通常動作	MIDIコントローラー

マスター・コントローラー

CROSSFADER	通常動作
EXT1 (RETURN)	使用不可
EXT1 (RETURN) CUE	使用不可
EXT2 (RETURN)	使用不可
EXT2 (RETURN)CUE	使用不可
ZERO FX (RETURN)	使用不可
ZERO FX (RETURN) CUE	使用不可
MONITOR BAL	通常動作
MONITOR LEVEL	通常動作
BOOTH	通常動作
MASTER	通常動作

2. FireWire MIDIインターフェイス

MIDI IN/OUT端子に接続したMIDI機器とPC間のMIDIコミュニケーションを、FireWire端子を経由して行うことができます。

MIDIについて

MIDIとは (Musical Instrument Digital Interface) の略で、電子楽器やコンピュータの間で、演奏に関するさまざまな情報をやりとりするための世界共通の規格です。

MIDIインプリメンテーション・チャートについて

MIDI機器の取扱説明書には、MIDIインプリメンテーション・チャートが付属しています。このチャートは、送受信できるMIDIメッセージについて確認できるようになっています。MIDI機器を使うときには、それぞれのMIDIインプリメンテーション・チャートを比較し、対応しているMIDIメッセージを確認してください。

本機のMIDIインプリメンテーションチャートは、CD-ROMに収録されています。

補足: 詳細なMIDIの仕様については、MIDIインプリメンテーションに記載されています。MIDIインプリメンテーションは、付属のCD-ROMに収録しています。

MIDIコントローラーとして使用する

本機はミキサーとして使用するほかに、本機から送信するMIDIメッセージで、PCアプリケーションやシンセサイザーなどの外部MIDI機器のリアルタイムコントローラーとして使用することができます。

コンピューターと接続する

1. MIDIドライバをインストールします。
ご使用になるコンピューターに付属のCD-ROMを使用して「KORG FireWire Audio/MIDIドライバ」をインストールしてください。(→p.130)
補足: Macintoshをご使用になっている場合は、ドライバのインストールは必要ありません。
2. FireWireケーブルを使用し、本機とコンピューターを接続します。
3. コンピューターが本機を認識したことを確認します。
4. ホスト・アプリケーションを起動します。
補足: 本機をコンピューターとFireWireケーブルで接続すると、「3in3out」のMIDIインターフェイスとして認識されます。

“ZERO 1”は、本機と付属のエディタソフト“ZERO Edit”との通信用として使用します。

“ZERO 2”は、本機とDAW等MIDIホスト・アプリケーションとのMIDIメッセージ通信用として使用します。

“ZERO 3”は、本機のMIDI端子に接続したMIDI機器のメッセージ通信用に使用できるMIDIインターフェイスとして機能します。(→p.124)

補足: お使いになるDAW等MIDIホスト・アプリケーションによっては、アプリケーション起動時に全MIDIポートを確保するものがあります。そのようなアプリケーションと専用エディタ“ZERO Edit”を同時に使用する場合、ZERO Editを先に起動し、“ZERO 2”で接続/認識を行ってから、お使いのMIDIホスト・アプリケーションを起動することによって、両方のアプリケーションを同時に使用することができます。

ミキサー・チャンネルの各コントローラーをMIDIコントローラーとして使用する

1. INPUT SELECTORノブを回し、MIDIを選択します。
コントローラーとして使用するINPUT SELECTORノブを回し、MIDIを選択します。
2. 選んだミキサー・チャンネルのノブ/スイッチを操作すると、各コントローラーに割り当てられたMIDIコントロールメッセージを送信します。
このとき、選択したミキサー・チャンネルのLINE入力端子の音声はマスター・バスに出力されます。ただし、フェーダー、EQ、バランス等の設定はできません。音量の調節はGAINノブで行ってください。
3. 各コントローラーに割り当てるMIDIメッセージは、専用エディタソフトで変更することができます。

プッシュ・ノブ1~8、タッチ・パッドをMIDIコントローラーとして使用する

- プッシュ・ノブ1~8やタッチ・パッド(LCDディスプレイ)をMIDIコントローラーとして使用することができます。BANK 1~4ボタンに各コントローラーの設定を記憶することができ、ボタンを押すだけで設定を呼び出すことができます。
1. BANK 1ボタンを押し、MIDIコントロールバンク・ページを表示します。BANK 1ボタンが点灯します。

2. プッシュ・ノブ1～8を回すと、各エンコーダー動作に割り当てられたMIDIメッセージを送信します。
3. プッシュ・ノブ1～8を押すと、各スイッチ動作に割り当てられたMIDIメッセージを送信します。
4. LCDディスプレイ(タッチ・パッド)をタッチ操作すると、タッチ動作、X方向動作、Y方向動作にそれぞれ割り当てたMIDIメッセージを送信します。
5. 各MIDIメッセージは、システム・セットアップまたはZERO EDITアプリケーションで変更することができます。
6. BANK2～4もBANK1と同様に、各ページを表示時にそれぞれのコントローラーに割り当てたMIDIメッセージを送信することができます。

FireWire Audio/MIDIデバイス名一覧

MIDI Device

PortNo	MIDI IN ポート	MIDI OUT ポート	備考
1	ZERO 1	ZERO 1	ZERO Edit専用
2	ZERO 2	ZERO 2	MIDIコントローラー専用
3	ZERO 3	ZERO 3	外部MIDI IN/OUT端子用

注意: 使用するアプリケーションによっては、本機から名前を取得せずに、独自のポート名が表示されることがあります。

Audio Device

PortNo	Audio Input ポート名 Audio Output ポート名	入力端子との対応 出力端子との対応(工場出荷時※1)
1	ZERO 1L	CH 1 L
	ZERO 1L	CH1 L PRE EQ
2	ZERO 1R	CH 1 R
	ZERO 1R	CH1 R PRE EQ
3	ZERO 2L	CH 2 L
	ZERO 2L	CH2 L PRE EQ

4	ZERO 2R	CH 2 R
	ZERO 2R	CH2 R PRE EQ
5	ZERO 3L	CH 3 L
	ZERO 3L	CH3 L PRE EQ
6	ZERO 3R	CH 3 R
	ZERO 3R	CH3 R PRE EQ
		•
		•
		•
15	ZERO 8L	CH 8 L
	ZERO 8L	CH8 L PRE EQ
16	ZERO 8R	CH 8 R
	ZERO 8R	CH8 R PRE EQ
17	ZERO INVALID AUDIO1	---
	---	---
18	ZERO INVALID AUDIO2	---
	---	---

注意: コンピュータのオーディオ入力ポートの17番目、18番目に「ZERO INVALID AUDIO1、INVALID AUDIO2」、「INPUT17、INPUT18」などのポート名が表示されることがあります。それらはオーディオ入力ポートは、無効なポートなので使用することができません。

注意: 使用するアプリケーションによっては、本機から名前を取得せずに、独自のポート名が表示されることがあります。

※1: Audio Outputポートは、システム・セットアップまたはZERO EDITアプリケーションによって出力位置を変更できます。

MIDIの接続

MIDI端子を使用してMIDI情報を送受信するには、市販のMIDIケーブルを使用します。本機のMIDI端子と情報をやりとりする外部MIDI機器のMIDI端子に接続します。

MIDI IN端子: 他のMIDI機器からMIDIメッセージを受け取ります。外部機器のMIDI OUT端子と接続します。

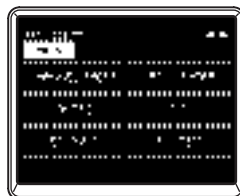
MIDI OUT端子: 本機からMIDIメッセージを送ります。外部機器のMIDI IN端子と接続します。

システム・セットアップ

ZERO8の各フェーダーのカーブ設定や各コントローラーに割り当てるMIDIメッセージの設定など行います。

1. セットアップ方法

SETUPボタンを押して、SETTING MAINページを表示します。本機の各種設定を行います。



セッティング・パラメーターの保存について

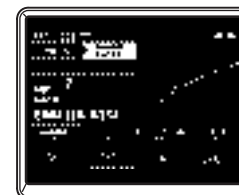
セッティング・パラメーターを変更すると、SETUPボタンが点滅します。セッティング・パラメーターの本体への保存は、SETUPボタン点滅時にSETUPボタンを押すか、SETTING以外のページに移動することにより行われます。SETUPボタンが点滅している状態で電源を切ると、そのときに設定した情報は本体に保存されません。

2. セットアップ・パラメーター・ガイド

フェーダーカーブを設定する

1. CHANNEL FADER

チャンネル・フェーダーのフェーダー・カーブ設定を行います。POSITION、CURVEのパラメーターを設定することにより、好みのフェーダー・カーブに調整することができます。また、あらかじめ設定されているプリセットのカーブを呼び出すことができます。



- 1: CHANNEL ...** [1 ~ 8, ALL] フェーダー・カーブを設定するチャンネルを選択します。“ALL”を選択すると、全チャンネルを同じ値に設定できます。
- 2: NUM** [1 ~ 8] プリセットのフェーダー・カーブから選択します。
- 3: POSITION** [0 ~ 127] フェーダー値が最大となる位置を設定します。
- 4: CURVE** [-64 ~ +63] フェーダーの切れ具合を設定します。

2. CROSSFADER

クロスフェーダーのフェーダー・カーブ設定を行います。POSITION、CURVEのパラメーターを設定することにより、好みのクロスフェーダー・カーブに調整することができます。また、あらかじめ設定されているプリセットのカーブを呼び出すことができます。

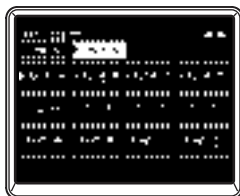


- 1: NUM** [1 ~ 8] プリセットのクロスフェーダー・カーブを呼び出します。
- 2: POSITION** [0 ~ 127] クロスフェーダー値が最大となる位置を設定します。
- 3: CURVE** [-64 ~ +63] クロスフェーダーの切れ具合を設定します。

MIDIコントロール・チェンジ・メッセージの設定

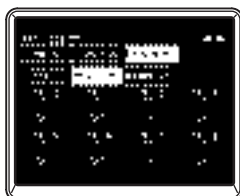
3. CONTROL

プッシュ・ノブ1~8をMIDIコントローラーとして使用する場合の、MIDIコントローラー設定を行います。セッティングメインページからLCDディスプレイ内のCONTROLSボタンを押すと、CONTROLSページを表示します。



KNOB A~D

プッシュ・ノブ1~8をエンコーダーとして回したときの、MIDIコントロールメッセージを設定します。

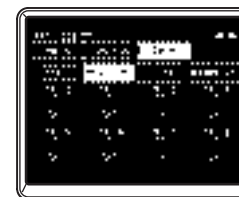
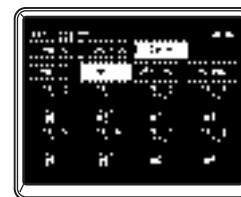


- 1: NEXT** 次ページを表示します。
- 2: NO.** [0 ~ 127] 各プッシュ・ノブのコントロールチェンジメッセージをアサインします。
- 3: MIN** [0 ~ 127] 各プッシュ・ノブのコントロールチェンジ最小値を設定します。
- 4: MAX** [0 ~ 127] 各プッシュ・ノブのコントロールチェンジ最大値を設定します。
- 5: PREV** 前ページを表示します。
- 6: MIDI CH** [1 ~ 16] 各プッシュ・ノブのMIDIチャンネルを設定します。
- 7: BEHAVIOR** [ABS, REL] 各プッシュ・ノブの動作モードを設定します。
ABS: 絶対値モードで使用します。
REL: 相対値(符号ビット)モードで使用します。
ノブを右に回すと(増加時)は、1、2、3、…、64と値を送信します。左に回すと(減少時)は、65、66、67…127と値を送信します。

注意: “REL”(相対値モード)を選択する場合は、使用するソフトウェアが対応している必要があります。

SW A~D

プッシュ・ノブ1~8をスイッチとして押したときの、MIDIコントロールメッセージを設定します。

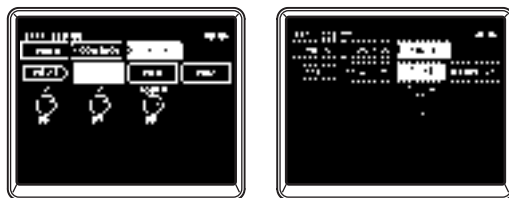


- 1: NEXT** 次ページを表示します。
- 2: NO.** [0 ~ 127] 各スイッチのコントロールチェンジメッセージ、ノート番号をアサインします。
- 3: OFF VAL** [0 ~ 127] 各スイッチをオフ時に送信するコントロールチェンジの値を設定します。タイプを“NOTE”にした場合、ノート・オフに固定されます。

4: ON VAL [0 ~ 127]	各スイッチをオン時に送信するコントロールチェンジの値を設定します。タイプを"NOTE"にした場合、ノート・オン時のペロシティー値を設定します。
5: PREV	前ページを表示します。
6: MIDI CH [1 ~ 16]	各スイッチのMIDIチャンネルを設定します。
7: TYPE [CC, NOTE]	各スイッチのMIDIメッセージを設定します。 CC: スイッチ操作時のMIDIメッセージをコントロールチェンジに設定します。 NOTE: スイッチ操作時のMIDIメッセージをノートナンバーに設定します。スイッチ・オン時にペロシティーを最大で指定したノートオンメッセージを送信します。スイッチ・オフ時にノートオフメッセージを送信します。
8: BEHAVIOR .. [TOG, MOM]	各スイッチ操作時の動作モードを設定します。 TOG: トグル動作。スイッチを押す毎に、オン、オフが切り替わります。 MOM: モーメンタリー動作。スイッチを押している間だけオン、離すとオフになります。

PAD A～D

タッチ・パッドを触ったときの、MIDIコントロールメッセージを設定します。X方向、Y方向、タッチそれぞれにメッセージを設定することができます。



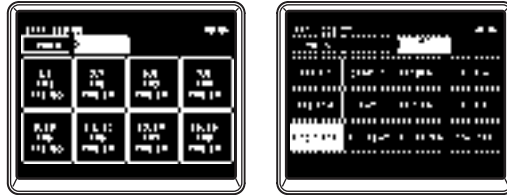
1: NEXT	次ページを表示します。
2: NO [0 ~ 127]	各コントローラーのコントロールチェンジメッセージをアサインします。

3: MIN [0 ~ 127]	X,Yについては、各コントローラーのコントロールチェンジメッセージの最小値を設定します。TOUCHは、オフ時に送信するコントロールチェンジの値を設定します。タイプを"NOTE"にした場合、ノート・オフに固定されます。
4: MAX [0 ~ 127]	X,Yについては、各コントローラーのコントロールチェンジメッセージの最大値を設定します。TOUCHは、オフ時に送信するコントロールチェンジの値を設定します。タイプを"NOTE"にした場合、ノート・オン時のペロシティー値を設定します。
5: PRV	前ページを表示します。
6: MIDI CH [1 ~ 16]	タッチ・パッドのMIDIチャンネルを設定します。ここで設定したMIDIチャンネルは、X方向、Y方向、タッチそれぞれのMIDIチャンネルとして設定されます。
7: TYPE [CC, NOTE]	(TOUCH時、設定可能) タッチのMIDIメッセージを設定します。 CC: タッチ操作時のMIDIメッセージをコントロールチェンジに設定します。 NOTE: タッチ操作時のMIDIメッセージをノートナンバーに設定します。タッチオン時にペロシティーを最大で指定したノートオンメッセージを送信します。タッチオフ時にノートオフメッセージを送信します。
8: BEHAVIOR .. [TOG, MOM]	(TOUCH時、設定可能) タッチ操作時の動作モードを設定します。 TOG: タッチするごとに、オンとオフが切り替わります。 MOM: タッチを押している間だけオン、離すとオフになります。

FireWireオーディオ出力の設定

4. I/O

本機に入力した音声信号を、FireWireから出力する設定を行います。FireWire端子に出力する出力ソースを選択することができます。本機のFireWireオーディオは、最大16in16outとして使用することができます。FireWireオーディオ出力16outは、ステレオ8チャンネルとして出力ソースを設定します。



- 1: CH1-CH8** FireWire端子から出力する音声のステレオチャンネル1～8を選択します。
- 2: SOURCE**..... FireWireから出力する音声のソースを選択します。
- *PRE EQ: 選択したミキサー・チャンネルのプリEQの音を選択します。
 - *PRE FDR: 選択したミキサー・チャンネルのプリフェーダーの音を選択します。
 - *POST FDR: 選択したミキサー・チャンネルのポストフェーダーの音を選択します。
 - SEND1: EXT1 SENDバスの音を選択します。
 - SEND2: EXT2 SEND2バスの音を選択します。
 - FX SEND: ZERO FX SENDのSENDバスの音を選択します。
 - RETURN1: EXT1 RETURNバスの音を選択します。
 - RETURN2: EXT2 RETURNバスの音を選択します。
 - FX RETURN: ZERO FX SENDのRETURNの音を選択します。
 - BUS A: クロスフェーダーAチャンネルの音を選択します。
 - BUS B: クロスフェーダーBチャンネルの音を選択します。
 - MASTER: マスターアウトの音を選択します。

BUS B: クロスフェーダーBチャンネルの音を選択します。

MASTER: マスターアウトの音を選択します。

ヒント: *印のソースは、INPUT SELECTORでFireWireオーディオ入力を選択したときには、INPUT(LINE)入力の音が出力されます。

EQタイプを表示する

5. EQ INFO

各チャンネル毎に設定したEQタイプを、一覧表示することができます。LCDディスプレイにタイプ毎の名前が表示されます。



LCDディスプレイの調整、設定の初期化

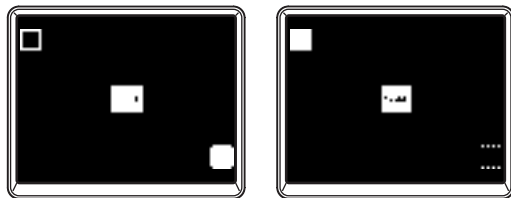
6. SYSTEM

LCDディスプレイのコントラストやタッチ・ディスプレイのキャリブレーションの設定を行います。また、工場出荷時の状態に戻したり、現在のセッティング情報をMIDIダンプ出力することができます。



LCD CALIBRATION

タッチ・ディスプレイの調整を行います。タッチ・ディスプレイで入力時に、押しただけと違うボタンが選ばれてしまうときなどに、LCDディスプレイとタッチ・パネルの位置ずれを調整します。

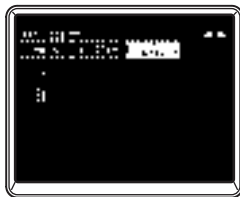


1. タッチディスプレイの左上の四角を押します。正しく認識すると表示が反転します。
2. タッチディスプレイの右下の四角を押します。正しく認識すると表示が反転します。
3. DONEボタンを押します。

LCD CONTRAST

LCDディスプレイのコントラスト(濃淡)を調整します。設定範囲は[0~64]です。ノブを右へ回すと文字が濃くなり、左へ回すと薄くなります。

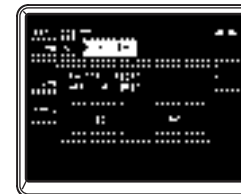
ヒント: LCDディスプレイの表示は目線の位置により異なりますので、必要に応じて調整してください。



FACTORY RESET

本機の設定内容を、工場出荷時の状態に初期化します。

1. FACTORY RESETボタンを押します。“ARE YOU SURE?”ダイアログが表示されます。
2. “YES”を押すと工場出荷時の状態に初期化されます。“NO”を押すと、キャンセルされます。



ソフトウェアのインストール

付属のCD-ROMに収録されているKORG FireWire Audio/MIDIドライバやZERO Editなどのソフトウェアを、本機を接続して使用するコンピューターへインストールします。

CD-ROMの内容

同梱されているCD-ROMには、以下のものが収められています。

- ZERO Edit
- KORG FireWire Audio/MIDIドライバ
- ZERO Edit取扱説明書 (PDF)
- ソフトウェア使用許諾契約 (RTF)
- MIDIインプリメンテーション・チャート (PDF)
- MIDIインプリメンテーション

使用前のご注意

- 本製品のソフトウェアの著作権は、すべて (株) コルグが所有しています。
- 本製品のソフトウェアの使用許諾契約が別途に付属されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずソフトウェア使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアをインストールすると、この契約にご同意いただいたこととなります。

動作環境

Windows XP

対応OS: Microsoft Windows XP Home Edition/Professional Service Pack 2以降

対応コンピューター: FireWire (IEEE 1394) ポート搭載

CPU Pentium3 800MHz以上

メモリ 256MB以上

Mac OS X

対応OS: Mac OS X 10.3.9以降

対応コンピューター: FireWire (IEEE 1394) ポート搭載

CPU PowerPC G3 800MHz, PowerPC G4 733MHz以上、

または、Intel プロセッサ搭載機種

メモリ 256MB以上

1. Windows XPのドライバとエディター・ソフトのインストール

注意: Windows XPへのソフトウェアのインストールおよびアンインストールを行うためには、Administratorの管理者権限が必要です。詳しくはシステム管理者に相談してください。

注意: ZERO8とコンピューターをFireWireで接続する前に、ZERO4/ZERO8アプリケーション・インストーラーでKORG FireWire Audio/MIDIドライバをインストールしてください。

ZERO4/ZERO8アプリケーション・インストーラー

ZERO4/ZERO8アプリケーション・インストーラーは、KORG FireWire Audio/MIDIドライバやZERO Editなどのソフトウェアを、コンピューターへ自動的にインストールします。

1. 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。

通常は、「ZERO4/ZERO8 Application Installer」が自動的に起動します。

コンピューターの設定などで、自動的に起動しない場合は、CD-ROMの中の「KorgSetup.exe」をダブルクリックします。

2. 画面の指示に従って、KORG FireWire Audio/MIDIドライバやZERO Editなどのソフトウェアをインストールしてください。

注意: FireWireポートを経由してZERO Editを使用するときは、KORG FireWire Audio/MIDIドライバをインストールしてください。

3. 選択したすべてのソフトウェアをインストールが終了したら、インストーラーを終了します。

インストールの方法は、次の「KORG FireWire Audio/MIDIドライバのインストール」を参照してください。

KORG FireWire Audio/MIDIドライバのインストール

1. 画面の指示に従ってKORG FireWire Audio/MIDIドライバをインストールします。

インストールの途中で、「...Windowsロゴテストに合格していません。」という内容の、デジタル署名認証に関するダイアログが表示される場合がありますが、[続行]をクリックして先に進みます。

注意: インストールできないときは、コンピューターがデジタル署名の無いドライバをインストールできないように設定されている可能性があります。「デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するには」に従って、コンピューターの設定を確認してください。

2. KORG FireWire Audio/MIDIドライバのインストール途中で、下記の画面が表示されたら、FireWireケーブルを接続して、本機の電源を入れてください。



3. KORG FireWire Audio/MIDIドライバをインストールしたら、インストーラーを終了します。
再起動を求められた場合には、[はい]を選んでコンピューターを再起動してください。

ZERO Editのセットアップ

ZERO Editのセットアップや使用方法については、「ZERO Edit取扱説明書」をご覧ください。

デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するには

使用しているコンピューターが、デジタル署名の無いドライバをインストールできないように設定されている場合はKORG FireWire Audio/MIDIドライバをインストールすることができません。次の方法でドライバをインストールできるように設定を変更してください。

1. タスクバーの[スタート] → [コントロールパネル]の順にクリックして、コントロールパネルを表示します。

2. コントロールパネル内の[システム]をダブルクリックし、[ハードウェア]タブをクリックします。
3. “ドライバ”で、[ドライバの署名]をクリックします。



4. “どのように処理しますか?”で、[無視]または[警告]を選び、[OK]をクリックします。
必要なときはKORG FireWire Audio/MIDIドライバをインストール後に、この設定を元に戻してください。



2. Mac OS Xのエディター・ソフトのインストール

ソフトウェアのインストール

ZERO Editのインストーラーを起動しインストールします。

ヒント: ドライバはMacOS標準のものを使用するので、インストールする必要はありません。

1. 付属のCD-ROMを、コンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。
2. CD-ROMの中のソフトウェアのインストーラー (.pkg) をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
インストーラーは、次のフォルダに納められています。
「ZERO Edit」フォルダのZERO Edit for MacOS X.pkg
3. 画面の指示に従って、ZERO Editのソフトウェアをインストールしてください。
4. ソフトウェアをインストールしたら、インストーラーを終了します。

ZERO Editのセットアップ

ZERO Editのセットアップや使用方法については、「ZERO Edit取扱説明書」をご覧ください。

付録

1. 故障かなと思う前に

電源が入らない

- 電源コードがコンセントに接続されていますか？
- リア・パネルの電源スイッチがオンになっていますか？

音が出ない

- 本機および接続している機器の電源がオンになっていますか？
- チャンネル・フェーダーまたは、MONITOR LEVELノブが下がっていませんか？
- チャンネルの音量レベルが下がっていませんか？
- SOLO/CUTスイッチがCUTになっていませんか？
- GAINノブが適正なレベルまで上がっていますか？
- 各入力端子に接続後、各ミキサー・チャンネルに正しく入力しましたか？
- INPUT SELECTORノブで各ミキサー・チャンネルに入力してください。
- 音声が入力されているかを確認してください。
- 各ミキサー・チャンネルの音声が入力していることをレベル・メーターで確認します。
- 入力の選択にMIDIコントローラーを選んでいませんか？
- INPUT SELECTORノブで音声の入力端子を選択してください。

ノイズやひずみが多い

- GAINノブが適正ですか？TRIMノブの値が大きすぎると音がひずみ、小さすぎるとノイズが多くなります。
- GUITAR、MIC、INPUT 1～INPUT 8端子のGAINノブは、レベル・メーターの赤に点灯しない範囲で、できるだけ大きい値になるように調整することによって適正値が得られます。
- エフェクトを使用していませんか？
- エフェクトの中にひずみやノイズを加えるエフェクトがあります。エフェクトを使用しない状態で、ひずみやノイズがないことを確認してください。
- EQでひずむ場合、以下の調整をします。
- EQのゲイン値を調整します。

チャンネル・エフェクトがかからない

- チャンネル・エフェクトをアサインしたミキサー・チャンネルは正しいですか？
- アサインしているチャンネルを確認してください。

センド・エフェクトがかからない

- ZERO FX SENDのセンド・レベル設定が0または0付近になっていませんか？
- センド・レベルを上げてください。
- ZERO FX SENDのリターン・レベル設定が0または0付近になっていませんか？
- リターン・レベルを上げてください。

MIDI

MIDIシーケンサーが同期しない/MIDIコントロールができない

- MIDIケーブルが正しく接続されていますか？
- MIDIケーブルが断線していませんか？
- MIDIシーケンサーの同期に関する設定は適正ですか？
- MIDIシーケンサーの「取扱説明書」を参照してください。

MIDIでコントロールができない

- コントロール・チェンジを受信する機器が、1～16の各MIDIチャンネルを記録できるように設定されていますか？

クロスフェーダーやMIDIコントローラーが誤動作したり、タッチ・パネルが誤動作または動作しない

- システムを工場出荷時の状態に戻すことで、復帰できることがあります。以下のボタンを押しながら電源を入れることで、システムを工場出荷状態に戻すことができます。
- ・ ミキサー・チャンネル7のCUEボタンとミキサー・チャンネル8のCUEボタンを押しながら電源を入れてください。

FireWire

コンピューター側が本機を認識しない

- FireWireケーブルが正しく接続されていますか？
- コンピューターのOSが、不安定な状態になっている可能性があります。コンピューターと本機の電源を一度オフにし、再度電源を入れなおしてください。

コンピューターから取り外すときにエラーが出た

- ホストアプリケーションを使用中には、絶対に本機とコンピューターの接続を取り外さないでください。

接続時にソフトウェアやデバイス・ドライバのインストールを要求される

- お使いのコンピューターのOSのバージョンは、本機に対応したものでしょうか？

ZERO Editの起動やMIDIの転送に失敗することがある / コンピュータで録音や再生をするときに、ノイズや音切れがする

- USB接続の周辺機器をお使いですか？
外付けUSBハードディスク等他のUSB周辺機器をお使いの場合、FireWire MIDIの通信でエラーを起こしたり、録音/再生音に音切れやノイズ等が発生することがあります。その場合には、不要な周辺機器を外してご使用ください。
- 無線LANをお使いですか？
無線LANをお使いの場合に、FireWire MIDIの通信でエラーを起こしたり、録音/再生に音切れやノイズが発生することがあります。その場合には、無線LANをOFFにして本機をご使用ください。

ドライバに関連したトラブル

KORG FireWire Audio/MIDIドライバが正しくインストールできない

- 他のFireWire (IEEE 1394) 機器が接続されていませんか？
ZERO8以外のFireWire機器をコンピューターからはずした状態で、インストールを行ってください。外付けのFireWireの機器にZERO8を接続している場合は、コンピューター本体のFireWire端子 (IEEE 1394端子、iLink端子、DV端子) に直接ZERO8を接続してください。
- 他のソフトウェアや常駐ソフトウェア (ウイルスチェックなど) が起動していませんか？
他のプログラムが起動していると、インストールが正しく行われなことがあります。必ずインストールの前に他のプログラムを終了させてください。

オーディオ、MIDIの録音/再生ができない。音が出力されない。

- ソフトウェアを起動している状態で、FireWire (IEEE 1394) ケーブルを抜き差ししたり、本機の電源を入れ直したりしませんでしたか？
一旦すべてのソフトウェアを終了し、再度、本機の電源を入れ直してください。また、本機を接続した状態でコンピューターを起動すると、お使いのコンピューターの機種によっては動作が不安定になることがあります。そのような場合はコンピューターが起動した後に本機を接続してください。
- コンピューターがスタンバイ (サスペンド) 状態やスリープ状態になりませんでしたか？
復帰後にソフトウェアをすべて終了し、本機の電源を入れ直してからソフトウェアを起動してください。

- KORG FireWire Audio/MIDIドライバは正しくインストールされていますか？
ZERO8を使って、オーディオ/MIDIデータを再生するには、KORG FireWire Audio/MIDIドライバをインストールする必要があります。インストール方法については「ソフトウェアのインストール (→p.130)」を参照してください。
- 複数のソフトウェアを起動していませんか？
複数のソフトウェアを同時に起動すると、エラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、使用していないソフトウェアを終了してください。Windowsでは、ソフトウェアのウィンドウを閉じていても、タスクバーに残っていると起動していることになりまますので、タスクバーに表示されている不要なソフトウェアを終了してください。
- 使用する入出力デバイスは、正しく設定されていますか？
使用するアプリケーションによっては、オーディオ/MIDIデバイスの設定する必要があります。お使いのアプリケーションソフトの説明にしたがって、オーディオ/MIDIデバイスを設定してください。

コンピュータで録音や再生をするときに、ノイズや音切れがする

- 複数のZERO4/ZERO8や他のオーディオ・インターフェイス等のオーディオ機器をコンピューターに接続していませんか？
- FireWire (IEEE 1394) リピータハブに接続していませんか？
本機を1台だけコンピューターに接続して、ノイズがなくなるか確認してください。コンピューターに多くのオーディオ機器を接続すると、お使いの環境によってはノイズが発生することがあります。そのような場合には、本機だけをコンピューターに接続してお使いください。
- 本機以外にFireWire (IEEE 1394) 機器をお使いですか？
外付けのFireWireのハードディスクにZERO8を接続している場合は、コンピューター本体のFireWire端子 (IEEE 1394端子、iLink端子、DV端子) に直接ZERO8を接続してください。また、本機以外のFireWire機器の電源を切ってみてください。
- 本機を使用中に、CD-ROMドライブやネットワークにアクセスするなど、負荷が重い処理を行いませんか？
本機を使用中に負荷の大きい処理を行うと、正しく動作しない場合があります。一旦、録音/再生を中止して、再度、録音/再生を開始してください。それでも再生/録音が正しくできない場合は、ソフトウェアをすべて終了し、ZERO8を接続し直してください。
また、Windowsをお使いの場合、KORG FireWire Audio/MIDIドライバの設定で、バッファサイズを調整することで症状を改善できることがあります。

2. エラーメッセージ

・MIDI RX BUSY

大量のMIDI情報を受信処理中です。このメッセージを表示中は、一時的にフェーダーやノブ等が動作しなくなります。表示が消えるのを待ってから操作してください。

・MIDI RX ERROR

大量のMIDI情報を短時間に受信したため、処理できませんでした。不要なMIDI情報は、なるべく送らないようにしてください。

・SYSTEM ERROR ???

本機の不具合、故障などの場合に表示されます。このようなメッセージが表示される場合、???の文章をメモした上、お客様相談窓口にお問い合わせください。

3. 仕様

ディスプレイ:	160×104ドット・バックライト/タッチパネル付きLCD
電源:	AC100V
消費電力:	52W
外形寸法:	450mm(W) × 371mm(D) × 125mm(H)
重量:	7.3kg

■ 主要規格

INPUT (TRS) → OUTPUT (MASTER)

周波数特性:	10Hz～20kHz+1dB、-2dB @fs44.1kHz 10Hz～21kHz±1dB @fs48kHz 10Hz～40kHz±1dB @fs96kHz 15Hz～50kHz±1dB @fs192kHz
S/N:	93dB (標準) @IHF-A
THD+N:	0.02% (標準) INPUT: +22dB@GAIN=0dB
A/D変換:	24bit 64倍オーバー・サンプリング
D/A変換:	24bit 128倍オーバー・サンプリング
サンプリング周波数(fs):	内部 44.1kHz、48kHz、96kHz、192kHz

■ アナログ・デジタル入出力規格

INPUT 1 ~ 8

コネクタ:	φ6.3mm TRS フォーン・ジャック (平衡) L/R RCAピンジャック L/R
入力インピーダンス:	10kΩ
規定レベル:	TRS: +4dBu@GAIN=0dB (GAIN=-∞~0dB) RCA: -10dBu@GAIN=0dB (GAIN=-∞~+6dB)
最大レベル:	TRS: +22dBu@GAIN=0dB (GAIN=-∞~0dB) RCA: +8dBu@GAIN=0dB (GAIN=-∞~+6dB)
ソースインピーダンス:	600Ω

PHONO 1 ~ 3

コネクタ:	RCAピンジャック L/R
入力インピーダンス:	50kΩ
規定レベル:	-44dBu@1 kHz, GAIN=0dB (GAIN=-∞~+6dB), RIAA 準拠

MIC 1, 2

コネクタ:	XLR-3-31 タイプ (+48V ファンタム電源スイッチ付) φ6.3mm TRS フォーン・ジャック (平衡)
入力インピーダンス:	3kΩ/XLR時, 5kΩ/TRS時
規定レベル:	Hi: -60dBu@GAIN=0dB (GAIN=-∞~0dB) Low: -40dBu@GAIN=0dB (GAIN=-∞~0dB)
最大レベル:	Hi: -42dBu@GAIN=0dB (GAIN=-∞~0dB) Low: -22dBu@GAIN=0dB (GAIN=-∞~0dB)
ソースインピーダンス:	600Ω

GUITAR INPUT

コネクタ:	φ6.3mm フォーン・ジャック (不平衡)
入力インピーダンス:	1MΩ
規定レベル:	-6dBu@GAIN = 0dB (GAIN=-∞~+6dB)
最大レベル:	+12dBu@GAIN = 0dB (GAIN=-∞~+6dB)
ソースインピーダンス:	600Ω

MASTER OUTPUT L/R

コネクタ:	XLR-3-32タイプ L/R
出力インピーダンス:	150Ω
規定レベル:	+4dBu
最大レベル:	+22dBu
負荷インピーダンス:	10kΩ以上

BOOTH OUTPUT L/R

コネクタ:	φ6.3mm TRS フォーン・ジャック (平衡) L/R
出力インピーダンス:	150Ω
規定レベル:	+4dBu
最大レベル:	+22dBu
負荷インピーダンス:	10kΩ以上

EXT SEND 1, 2 L/R

コネクタ:	φ6.3mm TRS フォーン・ジャック (平衡) L/R
出力インピーダンス:	150Ω
規定レベル:	+4dBu
最大レベル:	+22dBu
負荷インピーダンス:	10kΩ以上

EXT RETURN 1, 2 L/R

コネクタ:	φ6.3mm TRS フォーン・ジャック (平衡) L/R
入力インピーダンス:	10kΩ
規定レベル:	+4dBu
最大レベル:	+22dBu
ソースインピーダンス:	600Ω

PHONES OUTPUT

コネクタ:	φ6.3mm ステレオ・フォーン・ジャック
出力インピーダンス:	100Ω
最大レベル:	80mW+80mW @32Ω

S/P DIF OUTPUT

コネクタ:	コアキシャル
フォーマット:	24bit S/P DIF (IEC 60958)

FireWire

コネクタ:	IEEE1394 6ピン ×2
フォーマット:	IEEE1394a

MIDI IN/OUT

コネクタ:	DIN5ピン ×2
-------	-----------

■ 付属品

電源コード、取扱説明書、CD-ROM

※ 製品の外觀および仕様は予告無く変更することがあります。

EFFECT PROGRAM LIST

0	NO EFFECT
1	LOOP DELAY
2	DRAWING EQ
3	XY LPF12
4	XY LPF18
5	XY LPF24
6	XY LPF30
7	XY HPF
8	XY BPF
9	XY BPF+
10	XY LPF12&DELAY
11	XY LPF24&DELAY
12	XY HPF&DELAY
13	XY BPF&DELAY
14	XY BPF+&DELAY
15	XY JET
16	XY MANUAL PHASER
17	XY MANUAL WAH
18	XY RING MOD
19	XY DIGI TALK
20	XY PITCH SHIFT
21	XY PITCH FINE
22	XY PITCH&DELAY1
23	XY PITCH&DELAY2
24	XY DISTORTION
25	XY DIST&MANU WAH
26	XY DECIMATOR
27	XY DECIMA&LPF
28	XY COMPRESSOR
29	XY LFO LPF12
30	XY LFO LPF18

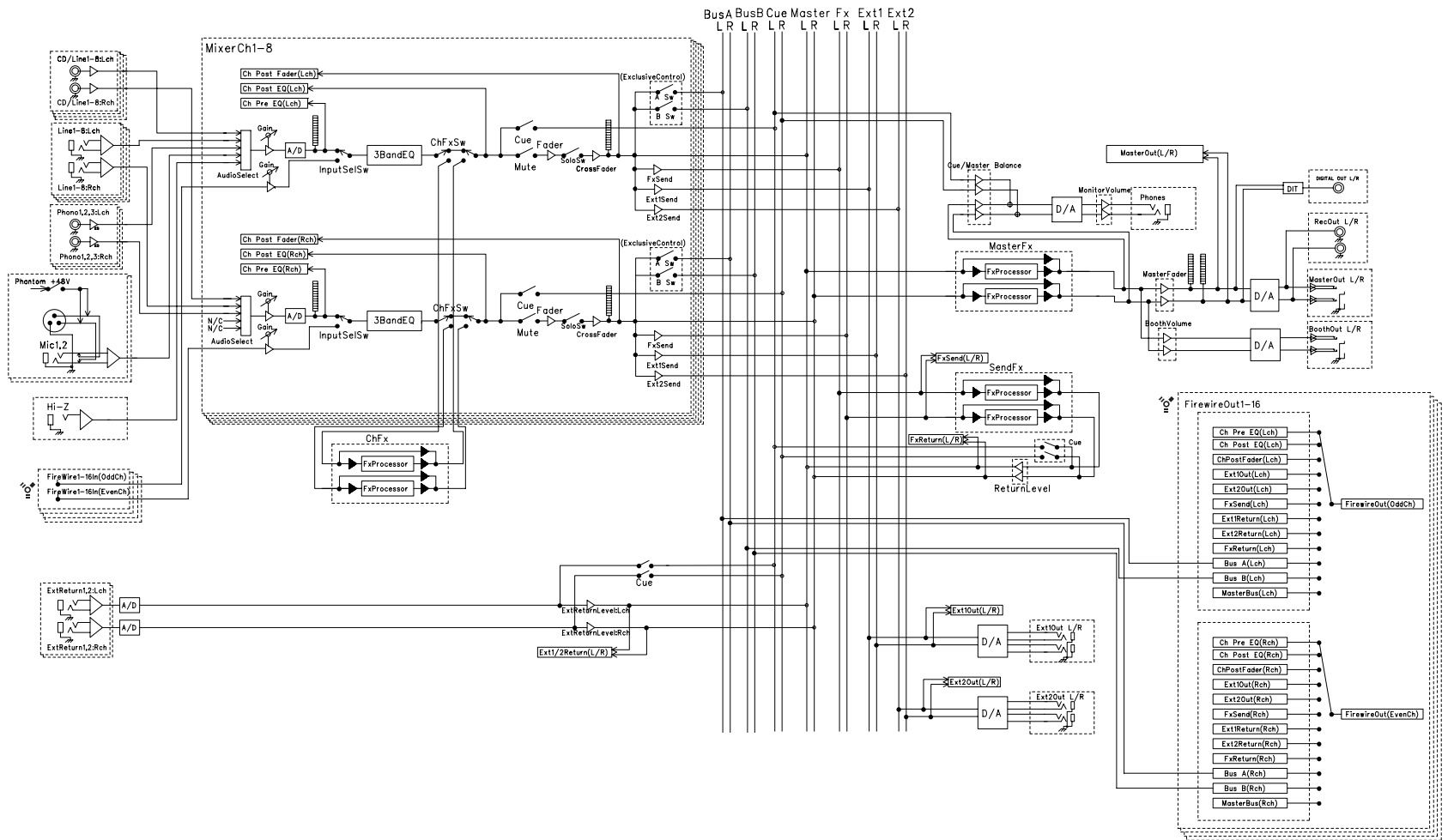
31	XY LFO LPF24
32	XY LFO HPF
33	XY LFO BPF
34	XY LFO BPF+
35	XY LFO HPF+&DLY
36	XY CHORUS
37	XY FLANGER
38	XY FLANGER&LPF
39	XY FLANGER&DELAY
40	XY PHASER
41	XY PHASER&DELAY
42	XY LFO WAH
43	XY DIST&LFO WAH
44	XY LFO DIGI TALK
45	XY AUTO PAN
46	XY SLICER
47	XY SLICER&LPF
48	XY SLICER&HPF
49	XY DELAY
50	XY BPM DELAY
51	XY NO FEEDBK DLY
52	XY LOW CUT DELAY
53	XY MULTI TAP DLY
54	XY CHORUS DELAY
55	XY TAPE ECHO
56	XY Dub Echo
57	XY FEEDBACK DELAY
58	XY REVERB HALL
59	XY REVERB S-HALL
60	XY REVERB D-PLAT
61	XY REVERB W-PLAT

62	XY GRAINSHIFTER
63	XY BPM GRAIN
64	XY GRAIN&HPF
65	XY BPM GRAIN&HPF
66	XY VINYL LOOPER
67	XY REWIND LOOPER
68	XY LOOPER&LPF
69	XY LOOPER&HPF
70	XY LOOPER&FLANGER
71	XY LOOPER&PITCH
72	XY LOOPER&DECIMA
73	LFO LPF12
74	LFO LPF18
75	LFO LPF24
76	LFO HPF
77	LFO BPF
78	CHORUS
79	FLANGER
80	PHASER
81	AUTO WAH
82	LFO WAH
83	RING MOD
84	LFO RING MOD
85	PITCH SHIFTER
86	AUTO PAN
87	TREMOLO
88	SLICER
89	DISTORTION
90	DIST&LFO WAH
91	DIST&AUTO WAH

CHANNEL Effect: 0-111
 SEND Effect: 0, 73-111
 MASTER Effect: 0-111

92	DECIMATOR
93	DECIMATOR&COMP
94	DECIMATOR&LPF
95	TUBE PRE
96	COMP
97	FAT COMP
98	LIMITER
99	DELAY
100	BPM DELAY
101	MULTI TAP DELAY
102	BPM MULTI TAP DELAY
103	CHORUS&DELAY
104	TAPE ECHO
105	REVERB HALL
106	REVERB SMOOTHHAL
107	REVERB DRY PLATE
108	REVERB WET PLATE
109	GRAIN SHIFTER
110	BPM GRAIN
111	LOOPER

Block Diagram



アフターサービス

■保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめサービス・センターへお問い合わせください。

■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときは、サービス・センターへお問い合わせください。

■修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

お客様相談窓口
TEL 03 (3799) 9086

●サービス・センター:

〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1 明正大井5号営業所
コルグ物流センター内 TEL:03 (3799) 9085

KORG 株式会社コルグ

本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

URL: <http://www.korg.co.jp/>

IMPORTANT NOTICE TO CONSUMERS

This product has been manufactured according to strict specifications and voltage requirements that are applicable in the country in which it is intended that this product should be used. If you have purchased this product via the internet, through mail order, and/or via a telephone sale, you must verify that this product is intended to be used in the country in which you reside.

WARNING: Use of this product in any country other than that for which it is intended could be dangerous and could invalidate the manufacturer's or distributor's warranty.

Please also retain your receipt as proof of purchase otherwise your product may be disqualified from the manufacturer's or distributor's warranty.

REMARQUE IMPORTANTE POUR LES CLIENTS

Ce produit a été fabriqué suivant des spécifications sévères et des besoins en tension applicables dans le pays où ce produit doit être utilisé. Si vous avez acheté ce produit via l'internet, par vente par correspondance ou/et vente par téléphone, vous devez vérifier que ce produit est bien utilisable dans le pays où vous résidez.

ATTENTION: L'utilisation de ce produit dans un pays autre que celui pour lequel il a été conçu peut être dangereuse et annulera la garantie du fabricant ou du distributeur. Conservez bien votre récépissé qui est la preuve de votre achat, faute de quoi votre produit ne risque de ne plus être couvert par la garantie du fabricant ou du distributeur.

WICHTIGER HINWEIS FÜR KUNDEN

Dieses Produkt wurde unter strenger Beachtung von Spezifikationen und Spannungsanforderungen hergestellt, die im Bestimmungsland gelten. Wenn Sie dieses Produkt über das Internet, per Postversand und/oder mit telefonischer Bestellung gekauft haben, müssen Sie bestätigen, dass dieses Produkt für Ihr Wohngebiet ausgelegt ist.

WARNUNG: Verwendung dieses Produkts in einem anderen Land als dem, für das es bestimmt ist, verwendet wird, kann gefährlich sein und die Garantie des Herstellers oder Importeurs hinfällig lassen werden. Bitte bewahren Sie diese Quittung als Kaufbeleg auf, da andernfalls das Produkt von der Garantie des Herstellers oder Importeurs ausgeschlossen werden kann.

KORG KORG INC.

4015-2 Yanokuchi, Inagi-city, Tokyo 206-0812 Japan